

プロパンガスは、正しく使用しましょう。 「安全点検」無事故で笑顔の楽しい暮らし…

器具は「LPガス専用」を使いましょう

- 購入した器具をお使いになる前に、LPガス専用であることを確認してください。
- LPガス用の器具には、下記のような表示がありますので確かめてください。



- ご使用の際は、使用上の注意や取扱説明書をよく読んでから、正しく使用してください。
- LPガス用の器具は金網などで共有です。
- 都市ガス用の器具は使用できません。



容器は正しく取付けましょう

- 適切な目的と合わない場所に置きましょう。
- やむを得ず自然たるのよい場所に置くときは、おおいをつけて、直射日光を避けましょう。また、寒いところや雪が多いところでは、防寒対策も必要です。
- 燃焼防止用のクサリをつけましょう。
- 凍害防止のため、コンクリート板などの台に置きましょう。



ガス漏れ警報器を必ず取付けましょう

- 「安心したつもの」のラックやビスなどのガス漏れ警報器を取り付けることができます。ガス漏れをすばやく感知してブザーや音声で知らせてくれます。
- 必ず「リークアラーム（検定合格品）」の取付されたものを使用しましょう。

- 警報器は、燃焼機器から4m以内、床から30cm以内の位置に取付けます。
- 有効期間は5年です。警報器に貼ってある「交換期限表示ラベル」を確認し、交換時期がきたら交換してください。



LPガスの性質を知っておきましょう

- 可燃性の1気-1分程度の量があり、漏れると燃え広がるやけどに大変なおそれがあります。
- ニオイが付けてあります。(LPガスそのものは無臭無臭ですが、漏れた場合、すぐわかるようにニオイがつけられています。)

- クリーンなガス。(LPガスには、人体に有害な一酸化炭素は含まれていません。)
- 液化しやすく、気化しやすく。



火災や地震など、災害の時はあわてずに

- 火災の時は一階レベルを閉め、消火器具などに特殊の位置を知らせて、後の対応を頼んでください。
- 地震の時は一火を全部消し、器具類・ガスのもねを閉めてください。ゆれの大きくなるとは、一階レベルを閉めてください。

- 災害の時は一階レベルを閉め、避難が難しかったら、流されたらしないようにロープなどで固定してください。
- 災害があったときは、販売店まで連絡してください。



火がついたことを必ず目で確かめましょう

- 可燃物の燃焼は、つまみをゆっくり閉すようにし、ボタン式はやさしく押しましょう。
- マッチなどで火をつける場合は、マッチなどに火をつけてから器具を閉めてください。
- 風や煙にほれてはじめて火が消えたり、火が広がるなど、火の勢に火がつくことがあります。ガスを使っているときは、その場を離れないようにしましょう。(燃焼するとき火を消さないでください。)
- ガス漏れのせよには、燃えやすいものを離かすようにしましょう。

